

【支部総会報告】奈良支部

支部総会報告

岩井 啓介(59回生)

平成29年6月24日(土)前回同様『オステリア ヒロ』にて、総勢38名の参加を得て奈良支部総会及び懇親会を開催しました。冒頭の学術講演会は黒田大悟氏(短3回生)の司会で、島津製作所の小山博氏に『SHIMADZU ヘルスケア・ソリューションについて』、市立奈良病院の葛和剛氏(短10回生)に『DMAT救護班の活動～診療放射線技師の立場から～』についてのお話を拝聴しました。いずれも興味深い示唆に富んだお話を引き込まれました。

奈良支部総会は、松山宜生支部長(56回生)の開会の挨拶を皮切りに、玉田彰学友会会長(53回生)からご挨拶を頂戴したあとで、鈴木英文事務局長から遠藤啓吾学長のご挨拶の代読に続いてリニューアルされた母校の近況報告を聞くことができ嬉しく思いました。

総会終了後には待ちに待った懇親会へと移り、学友会副会長の西谷源展先生(44回生)のご挨拶と乾杯のご発声で祝宴の幕が上がりました。来賓挨拶では、大阪支部、京都支部、滋賀支部、兵庫支部の各支部長の先生方からご祝辞をいただきました。また恒例となった新入会委員の紹介に続いて全参加者の自己紹介が行なわれ、親睦を一層深めるきっかけになったと思います。新入会員の方々もお酒の力を借りて諸先輩と積極的に話している光景が印象に残っています。楽しい時間は短く感じるのですが、お互いの近況を語りつくせないまま宴はお開きの時間を迎え誘い合いながら2次会へと流れていきました。

最後になりましたが、ご出席いただいたご来賓の皆様、大学関係の皆様、奈良支部会員並びに協賛頂きました島津製作所様には紙面を借りて厚く御礼申し上げます。次回も沢山の皆様とお会いできることを楽しみにしています。



以上

* 通巻225号 2017年10月10日発行(H29-No.3)より